

第2類医薬品

この添付文書は必要な時に読めるように大切に
保管し、服用の際には必ずお読みください。

漢方製剤
 JPS 十味敗毒湯エキス錠N

十味敗毒湯は皮膚に赤みやときに化膿がある方のじんましん、湿疹・皮膚炎などを改善します。かゆみを抑え、膿を排出させる働きがあります。

本剤は漢方処方である十味敗毒湯の生薬を抽出し、乾燥エキスとした後、服用しやすい錠剤としました。

 使用上の注意



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
(1)医師の治療を受けている人。
(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3)体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
(4)胃腸の弱い人。
(5)高齢者。
(6)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
(7)次の症状のある人。
 むくみ
(8)次の診断を受けた人。
 高血圧、心臓病、腎臓病
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、 脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
- 1 ヶ月位(化膿性皮膚疾患・急性皮膚疾患の初期に服用する場合には1 週間位)服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
- 本剤の服用により、まれに症状が進行することもありますので、このような場合には、服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

〔効能・効果〕

体力中等度なものの皮膚疾患で、発赤があり、ときに化膿するものの次の諸症：化膿性皮膚疾患・急性皮膚疾患の初期、じんましん、湿疹・皮膚炎、水虫

〔用法・用量〕

次の量を食前又は食間に水又はお湯にて服用してください。

年 齢	1 回 量	1 日服用回数
成人（15才以上）	4 錠	3 回
7 才以上15才未満	2 錠	
7 才未満	服用しないこと	

＜用法・用量に関連する注意＞

- (1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2)食間とは食後2～3時間を指します。

〔成分・分量〕

12錠中

十味敗毒湯乾燥エキス2.60gを含有しています。

日局サ イ コ …… 2.5 g	日局オ ウ ヒ …… 2.5 g
日局キ キ ヨ ウ …… 2.5 g	日局センキュウ …… 2.5 g
日局ブクリョウ …… 2.5 g	日局ド ク カ ツ …… 1.5 g
日局ボ ウ フ ウ …… 2.5 g	日局カ ン ゾ ウ …… 1.5 g
日局ショウキョウ …… 1.0 g	日局ケ イ ガ イ …… 1.5 g

上記生薬量に相当します

添加物として、無水ケイ酸、ケイ酸Al、CMC-Ca、ステアリン酸Mg、乳糖水和物を含有しています。

〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4)吸湿しやすいため、服用のつどビンのフタをよくしめてください。
- (5)本剤は生薬(薬用の草根木皮等)を原料として使用していますので、製品により色調等が異なる場合がありますが、効能・効果には変わりありません。
- (6)本剤をぬれた手で扱わないでください。水分が錠剤につくと、錠剤表面が変色したり、亀裂を生じることがあります。
- (7)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めのお店
あるいは下記にお願いいたします。
ジェーピーエス製薬 お客様相談室
電 話 045(593)2136
受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度の問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)



ジェーピーエス製薬株式会社

製造販売元 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台196-1

発 売 元 横浜市都筑区東山田4-42-22